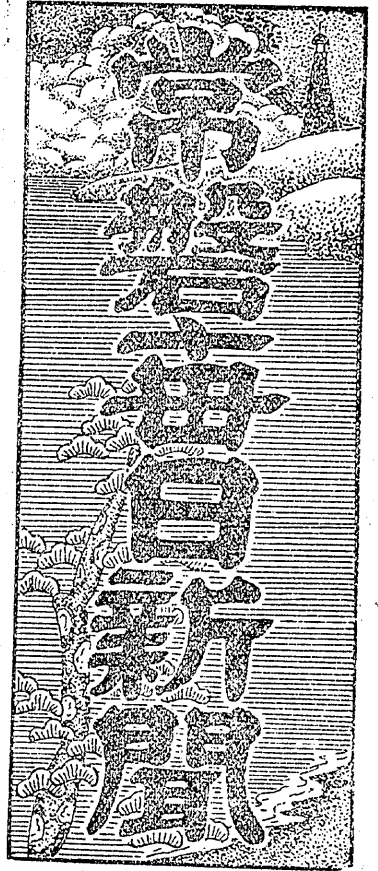


【刊夕】日六十月四



刊五程郵 錢十五月一 錢貳金部一 價一
錢十五行一 語字三十號五 料告廣
治 文 崎 川 人 刷 印 人 輯 編 兼 行 發
五三町橋長町平郡城石縣島福
番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
社會式株刷印日每警常 所刷印

花祭りと釋尊傳

桐原英純

▽釋尊傳の出生せられたのは西紀前五百六十五年の四月八日でありました、それで世界の佛教徒は、この日を以つて降誕會を催します。日本では卯月八日の花祭りがいともはがらかに行はれ、佛の出世を永遠にとほぐ次第であります

釋尊の誕生の内に四つの觀念すべき大きな出来事があります、それは第一が藍毘尼園における四月八日の御出世、佛陀伽耶における成道、鹿野苑における初轉法輪拘尸那城外における入涅槃であります、生身の釋尊は世壽八十にして沙羅双樹の下に滅度を示されたのでありますけれども、以上の四箇處の遺跡は二千五百年前の今日にも昔のまゝに残つておますので佛教徒はこれを四大處と稱して今もその遺跡を巡拜するの風があります、日本の西國札所巡禮の風は惟ふにそれから來たものであらうといはれます

この四つの事蹟は佛傳中において最も深い意義を有してゐます、佛の御出生が無くば今日の佛教が有らう筈なく、たとへ御出世ありとも成道なくばその出生も無意味であり、目出度く成道されたとしても、轉法輪つまり法輪を轉じて衆生を濟度せらるゝ行がなかつたならば、成道は人類と何の交渉もなかつた話になりま

す、それから最後の入涅槃の重要なことは申すまでもありません、それでこの四つの事蹟を場所を中心として印度に四大處の靈場があるばかりでなく、更に時を中心として世界の佛教徒に紀念されてゐるのが四月八日の降誕會、十二月八日の成道會、二月十五日の涅槃會であります、たゞ鹿野苑における初轉法輪だけは史實の上に日が残つてゐませんので轉法輪といふものは筆者寡分にして餘り間がないやうであります

梅毒 淋病

淋病 皮膚病 婦人病
門專 腸胃病 胃性病
院醫科 腸胃病 胃性病
七〇一話電 町南平

平玉子ケーキ
十ヶ入金十錢

本品の特長

- 一、本品は卵及び蜂蜜を多量含入製造したるもの効力を有す
- 一、日數を経るも軟かにして變味の憂ひ絶對なく子供、老人、病人、辨當代用、進物用として最も適す
- 一、最新式機にて製造し大量生産なるが故に價格低廉なり

●花見中は公園にても販賣致します

製造發賣元 平町三丁目 たけや茶店

江戸前鳥料理
純日本料理
花見折詰辨當
別製親子天井
重箱 辨當
公園とさわ前

錦水賣店

貸切の●●●

御用命はゼヒ

電話三九五番

芹澤自動車商會
タクシ一部
貨物運輸部

例年の通り。。。
四月十日より廿日まで特賣

魚沼のままぢや

おさしみ・おすし 御一人前
鐵火卷・鐵火井 金廿錢均一
山かけ・ねぎまなべ
御さしみに限り 御一人前
一口三人前以上は 金十七錢づ

御肴折詰 一人前廿錢より
御すし折詰 全 廿錢より

魚清自慢の親子・天井。ちらしは二十錢で満腹味は。。。百パーセント

御刺身吸物御飯付廿五錢

平町二丁目(警察署通り)

日本料理 **せ印 魚清食堂**
電話六三三番
勿來製水會社 魚清氷卸部
一手販賣 魚清賣店
電話四六七番
公園内ときは亭前

鳥料理

末 廣

京 制
番一四電

小名濱築港の 工事行なやむ

水質の不適當から セメント力を欠く

態々水道設置か

小名濱商港築港工事は過般
來漸く基礎工事に取掛る程
度に進み目下海中作業とし
てケイソンの沈下準備に
着手してゐるが端な
くも是が工事試験の結果築
港技術上重大な支障がある
事が發見され對策を腐心中
である即ち同工事の根本工
程であるケイソン其他に於
て九〇パーセントの重大な
役割りを持つセメント工事
が同地方一帯の水質の不
當から

財源に悩み 農會廢止を

町村長が協議

石城郡町村長支會では二十
七、八の兩日開かれる縣町
村長會に町村農會の廢止問
題を非公式ながら提案する
事になつた、この程施行さ
れた町村農會の總代選舉は
未了町村が郡下で相當に多
い、これ等の町村中には財
源難に大きな悩みを續けて
る今日無用の長物にひとし
い、この農會は絶対に不
要であると強硬意見を有し
てゐるものが多くこれに刺戟
されて懇談的に議題として
提案することになつたが農
會廢止論が全體的に論議さ
れてる時節柄だけにこの一
石が注目されてる

桑園低資の 貸付促進

指導員會議で 申合せを爲す

石城郡桑園改良指導員會議
は十五日午前十時から平町
各種團體事務所で開催した
が石城郡における桑園改良
による縣の低利資金貸付制
當九萬圓は未だに借り入れ
が實現せず郡南方部ではこ
れがため發芽期にある桑園
の手入れに事欠いてゐる始
めに農民の窮状を見るに忍
びないから實際町村當局を
督勵してこれが促進運動を
起すことに申合せて散會し
た

自動車會役員

郡自動車協會支部では既記
の如く昨日午後三時から平
署會議室で總會を開き
會長櫻村署長、副會長小
濱長太郎、野崎滿藏、幹
事三井富吉、評議員鈴木
稻美其他
と決定自動車税の軽減や路
上の電柱及び町角整理實現
等を協議した

平兒童保護會

平町
小學校兒童保護者會では理
事會を十六日午後二時より
第一小學校内に開催昭和五
年度の決算に六年度の豫算
を附議する筈

滿鮮土産談話

川崎小島

◆奉天の郊外一里ばかり
離れた處で奇妙な佛體を見
た、夫れは法輪寺の天地佛
である

◆荒廢した塔の下に一つ
の寺院があつて、案内を乞
ふと、一人の僧侶が出て來

シクタク てえ終を票投氣人

(完)
今度の人氣
投票で素晴
らしく力齧
を入れたの
は福島モー
ター商會平
出張所長の

磯貝信夫氏である、同氏は
投票の結果を見て奮躍し一
貴社の今度の企ては當地方
の交通文化の上に多大の刺
戟を與へるものと思つて最

た、城壁の觀ある土壁の内
に導かれて、本堂の前に立
つたが、案内僧は扉の錠前
に鍵を突きさして、何か譯
の解らぬ支那語を叫ぶ

◆満鐵社員に通譯による
と「お賽銭を出せ」といふ
のださうだ、御本尊の參拜
前に、鍵を握つてお賽銭を
請求する等は、支那式で面

白いと笑ひながら、出した
手掌に、十錢銀貨を三枚乗
せてやると「未だ足りぬ」
との事で錠前を開けない、
更らに廿錢追加した事に依
つて、漸く扉は開かれた

◆見ると、正面には「天
地渡化」と書いた扁額が敬
々しく掲げてあり、「佛光
普照」と染め抜いた幕の中
には、即ち御本尊が鎮座ま
しまして居る

◆此の御本尊なるものが
奇妙奇天烈なのに驚いた、
男女相抱擁した等身大の彫
像であるからである

◆而も二人の下半身は黒
衣を以つて覆はれて居るが
僧侶の突き出した鍵の先に

初から頗る興味を唆られ毎
日發表される結果を喜んで
待つて居たのですが當選者
の三九二、旭、イワキ共に
當商會のシポレー號を使用
して居るので我事の様は嬉
しかつたです」と喜びを満
面にたへ「シポレー號は
頑丈で優美な外觀を呈し室
内の調度が豪華で發動機は
靜肅であるからお客様の人
氣に投ずるのは當然です」
と如才なくシポレーを賞め
讃えて商賣熱心を示して居

依つて、その黒衣が左右に
開かれると……此の紙上に
明らかに書けば、直ちに發
賣禁止になる様な次第なの
であるから御想像を乞ふ

◆どうして斯ふした御本
尊を支那人が朝夕禮拜する
のかをだん／＼聞いて見る
と一應尤もな話がある

た、又一等賞の榮冠を擔つ
た三九二の松崎安氏は賞品
贈呈式の席上で「此の榮譽
を擔つた事はお顧客皆々様
方の御援助に依るものと私
は有難さで胸が一ツ杯です
此上はお客様の御期待に
そむかず一層營業の改善を
圖つて一等當選の名を恥か
しめぬ様充分に精進する積
りです」と語り投票立會人
の佐々木町議は「松崎氏の
此の抱負を聞く事に依つて
も貴社の催しの有意義であ

つた事を裏書する」と喜び
同じく門傳辯護士も「自動
車事故の瀕發は當地方の人
々に非常な脅威を感せしめ
て居るが、これは車臺の改
善と運轉技術の卓越とに依
つて或る程度迄除去し得る
と思ふ、此上から見ても社
會の人氣を蒐めんには營業
者自身餘程考へねばならぬ
点があらう」と感想を述べ
て一般營業者に對する戒告
を試みた

謹告

各位益々御清祥之段奉慶賀候陳者今
般顧客本位を主眼とし同業者相互の
向上を計り

平西洋料理業組合
平三業保健組合
平料理業組合

右三組合一丸となり玆に組織し
「平和會」と稱し平素の御最貴顧客
に酬ひたく今回開業せる藝妓置屋松
の屋を專屬とし藝妓を御需めに應じ
申候間何卒々々舊に倍し御愛顧之程
偏に奉懇願候先は御披露旁々御挨拶
まで如斯に御座候 敬具

追て組合員以外の各位に於て藝妓に
左記行司事務所又は本組合員に於て
取扱ひ申候
間御用命被下度此段御願申上候也
平町南町拾七番地

平和會 見番
(電四三九)



三井の
券品商
店服吳井三

健胃
小野常治謹製
國藥局

寝て待つた果報が 陸軍參與官の椅子

比佐代議士が金ピカ姿で
今度こそ本當に故郷に錦
湯本では有頂天!

石城郡政界の人氣男比佐昌平代議士がマンマと陸軍參與官の椅子を射落した、代議士に當選する事三回、議會では相當古顔であるのに華々しく

壇上にも 起らず役付きも香しくない處から鳴かず飛ばずの一陣笠で終始するのは御本人よりも周囲の取巻きの齒がゆさの種で、今度の政雲急なるを見てとつた郷黨からは續々と上京躍起となつて割り込み運動を策したのだが

御本人は一向平氣で「押掛け女房も妙だから」と殊勝なはにかみ振りでござまつて居たが、待てば海路の便りで先輩の原次郎氏が思ひ切りよくサラリと辭退した爲め、棚ボタ式に此の幸運が轉り込んだものである、比佐代議士の此の果報は誠に萬歳の至りだ、これこそ比佐氏の

役不足の恨みも晴れ石城の黨人達も有頂天の鼻が高い、地元の湯本町では早くも祝賀會を開く計劃を立てたとの事だが無理ならぬ次第で金ピカ姿の比佐氏も今度は故郷に錦が飾れる譯で、先日物故した地下の母堂もさぞかし喜んで居る事であらう

夜の平町 上空を飛行

霞ヶ浦仙臺間 廿二日に決行

霞ヶ浦航空隊の霞ヶ浦仙臺間飛行は来る廿二日松永副長指揮の下に一三式二號艦上攻撃機三臺を使用し無線

航法訓練も兼ねて決行されるが行動は各三機午前八時霞ヶ浦發で仙臺に着陸後日没を待つて午後七時彼地發平町の上空を経て霞ヶ浦に飛還する筈であるこの三機中二番機三番機の兩機は過般來試みられてゐる無線航法訓練のため三十分毎に機上から電線を輻射し同電線によつて位置を測定する霞ヶ浦から方向指示を受けて夜間飛行を行ふもので暗夜飛行には計器飛行と共に重要な飛行だけにこの飛行の搭者も第三飛行隊の幹部内パイロットが選抜されてこれに當ることになつた

磐城片倉製糸の 配當八分は確實か

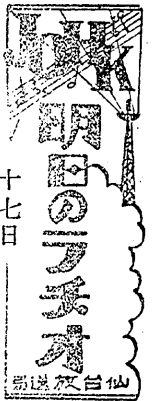
年産額十一万貫の 所要原料繭も優に得らる

石城郡平町磐城片倉製糸株式會社昭和五年下半年は順調なる業績をあげ純益金も約十萬圓に達すべく四月中には株主總會を開くこと、なつたが株主配當の如きも八分は確實と見られてゐる更に同社特定の組合にもそれ〴〵利益を均霑せしむべく計劃中であるが現在の組合数は百ヶ所、組合員二千五百名を越え同會社が年産額十一萬貫の所要原料繭も優に得らるゝの組織完成した

大減收

平稅務署が 五十萬圓減

平稅務署の六年度徵收額に就いては年柄として著しき減額を見込まれてゐるので周密な調査を行つてゐるが五年度に比し實に五十萬圓の巨額に達する激減を示してゐるこの主なるものは酒造稅の四十五萬六千七百圓に對して約四割の減及び鑛



明日は南東の風
曇り小雨の見込
報豫氣
み

今晚の部

後六、〇〇 童話劇「或る日の一年生」仙臺コードモ研究會
後六、三〇 英語講座中等科第一講の二「エーエフトマーズ」
後七、〇〇 全國ニュース
氣象通報 告知事項 番組豫告
後七、二五 趣味講演の「野球行脚から歸つて」(腰本壽)アメリカ映畫界土産(田村幸彦)埃及の今昔(黒木時太郎)海外舞

明日の部

前六、三〇 ラヂオ体操
前九、〇〇 氣象通報
前九、〇五 經濟市況
前九、一〇 料理献立「就學兒童と献立御辭當料理」
二「小野玉枝」日用品値段
後九、三〇 經濟市況
前一一、〇〇 婦人講座「婦選の話」石本静枝
前一一、四〇 經濟市況

死に物狂ひ

政界慌しく頓座 例の四倉漁港

地方民が躍起となつて多年の猛運動をつづけた甲斐あつてやつて宿望を達しホツ

山税でこれを四年度の徵收額百三十六萬六千餘圓から見れば三分の一といふ驚くべき數字を示すので同署でも流石に呆氣にとられてる

ト一安堵の体にあつた四ツ倉漁港修築問題は國庫補助金交付の雲行きがかんばしくなくこの程比佐代議士とも、町有志等が大舉上京促進運動につとめる處あつた、ところが突如の若槻延長内閣の出現で中央せい界が慌しく折角の促進運動も勞して効なき状態を終つたのでかくては地方の死活問題であるとして再度有志等が大舉して上京死に物狂ひの諒解運動につとめることになつた

簡保募集に大活躍

相談所設置所望の平局

平郵便局では簡保加入成績をあげて既記の如く健康保險相談所を設置すべく意氣込んで本年度には加入勧誘に大馬力をかけるべく目下大奮となつてをり
主務省に 於いても同地に本年度内に設置すべく

正午 時報
後〇、〇五 講談「鹽原多助親子の再會」寶井馬秀
後〇、四〇 全國ニュース
氣象通報 告知事項
後一、〇〇 經濟市況
後二、〇〇 家庭大學講座「獨逸文學世界大戰前の文學第十二講」文學博士山岸光宣
後二、三〇 經濟市況
後三、〇〇 氣象通報
後三、五〇 經濟市況
後四、〇〇 全國ニュース
後五、三〇 經濟市況
後五、四五 今晚の番組豫告
後六、〇〇 (子供の時間)お話「日清戰爭前後」藤澤衛彦
後六、三〇 英語講座「初等科」三岡倉由三郎

後七、〇〇 全國ニュース
官廳ニュースを含む
北新報社 ニュース
氣象通報 告知事項 番組豫告
後七、二五 講演「少年保護に就いて」檢事總長小山松吉
後八、〇〇 俚謠 佐藤貞子
後八、三〇 新内「戀娘昔八丈鈴ヶ森の段」富士松富士太夫其他
後九、〇〇 ピアノ獨奏レオニドクロイツァ
後九、三〇 ニュース 日本棋院春季東西大手合戦續十三
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 告知事項

幸運の手紙

嚴重に取締る

平地方に最近また、幸運の手紙が配達されこれを受取つた人々は大分惱まされてゐるが、平署では公安を害するものとして今後は嚴重取締る由である

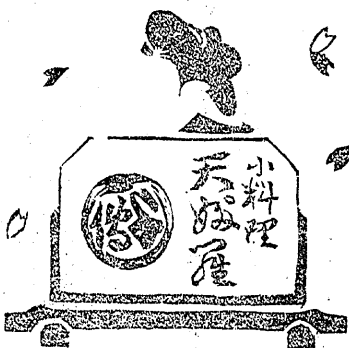
好問の火事

昨夜 残火の不仕末

十五日午後九時頃石城郡好問村宇川中子鈴木保次方より發火し同家一棟を全焼し

花見

是非折詰辨當の
御注文を願ひます



平局前 吉傳 電話 呼五二八番



お物持

◇加納の徳姫 (其五五)
 安蔵は急いで我家を飛出し、朱引内を離れるのだから、奉行所の届を済ます、人殺しの兇状持を消すのだから奉行所に故隙はない。早稲穂を脱して仲仙道へ向ふ。安蔵の立つた翌朝、外神田に居る安蔵の叔父が久し振りで尋ねて来た。

叔父ではあるが、何うも安蔵の顔を見て面白くない。減多に來た事になつたが、夫れが不思議に思つた。

「マア叔父さん御無沙汰御座りして居るのに、何方の方から來て居ては與へません、サア何うぞ」とお千代は世辭巧く迎えて、

奥の間に通した。

今でも人を縛る後目のものは、世間で恐れて多少敬遠主義を取る風だが、江戸の時代には今日以上に阿呆を卑しめた。其家へ出入りをすると、人に顔を見られるやうな引目がある。旁た親類も餘り度々は來ず、又此方も慮して態と往かない様にして居たものである……。

「俺も長年思ひに思つて居た、善光寺参りが出来たものだから、如來様のお姿やおけちみやうらを頂いて來たから、夫れを分け譲つてなア」

叔父は、腕から小風呂敷包を取り出した。

「マア善光寺様へ……」とお千代は意外だと言ふ表情。

「マア叔父さんの思ひとは言へ急に行ける事になつたので、何處へも挨拶なしでつたのだよ」

「知らないのですから。お守見舞にも出なで、何たら事でございませう、何うかマア御座りませう、何うかマア御座りませう、何うかマア御座りませう……」



お千代は眞から清まぬ氣がして、ボツと顔を見せる。

「誰にも話さず行つたのだから心易い人達からも小言が飛んで居る、マア斯うして小言を云れになすつて……」

「ハイ今日も相違らず出て居ます、マア何うか御座りませう、お千代は酒が好きたつたから早速お出しを頂つたりして酒を出し、愛を好く話し掛ける。

叔父も喜んで酒を飲み、善光寺の御堂の廣大なとや、柱の数が二百二十六本ある事や、垂木の数が六萬本ある事や、大本願や、大進の盛んなことや、十月十五日の會式に好い家排に間に合つた事や、御堂の繪にある藥山のプランの面白く出来たことや、景色のいいことや、久米路の橋は岩石を土臺にして、彼方此方曲つて掛つて居ることや、川中島の古戦場の跡を見たことなど、善光寺参りの話をしなから飲んだ……。

平妻互に無沙汰御座りして居るが、肉親の間柄は又別のものがある、お千代は酒席の取廻しが甘く、叔父も知らず尻を振るを返すを取上げた……。

て總は命用御の物刷印
 常警日每刷印株式會社
 電話三六〇番

外科 X 光線科

性病科 外科

平町田町
安齊外科醫院
 電話 四七五番

内科 小兒科 花柳病科
藤沼醫院
 入院需應
 平町紺屋町
 電話 五〇七番

肺病の特効薬
ツベロリン
 定價……五圓五十錢
 平町三丁目
宇佐美藥局
 一手販賣元
 (萬一効能ナキ時ハ代金返金致シマス)
 電話 六五一

銘酒 たひひら 正宗
 特 二合入 貳拾錢
 價 四合入 四拾錢
 一升入 壹圓
合 釀造元山崎合名營業部
 電話 一〇番

◎◎◎◎◎
 小鳥店譲りたし
 商品附屬道具一式居
 退の儘にて安く譲る
 御希望の御方は來る二
 十日迄に
 田町ベニヤに御
 來談下さい……

貨切の御用命は
 皆様のタクシー！それは乗心地に
 ナンバーワンのイワキタクシー
 驛前 **イワキタクシー**
 電話 五六九番

春 行樂の春
 カメラのシーズン來る!!!
 御散歩に!!! 山遊びに!!! 御旅行に!!!
 よく寫るので評判な
 いづみやの富士カメラ
 新製品入荷!!! タチマチ大評判
 アートカメラ A一號 (皮張) 附屬揃つて 金 一圓
 アートカメラ B一號 (皮張) 附屬揃つて 金 一圓
 アートカメラ C一號 (皮張) 速寫式附屬揃つて 金 二圓
 アートカメラ D一號 (皮張) レフレックス型速寫レンズ廻轉式 附屬揃つて 金 三圓

第四回懸賞寫眞の切が近づきました
 どうぞ御早く御出し下さい……
 今度の一等は
 何人でせう?
 切 四月二十日
 発表 四月二十五日
 一等 賞品美術置時計一個
 平驛前 いづみや玩具店
 電話 呼六二〇番